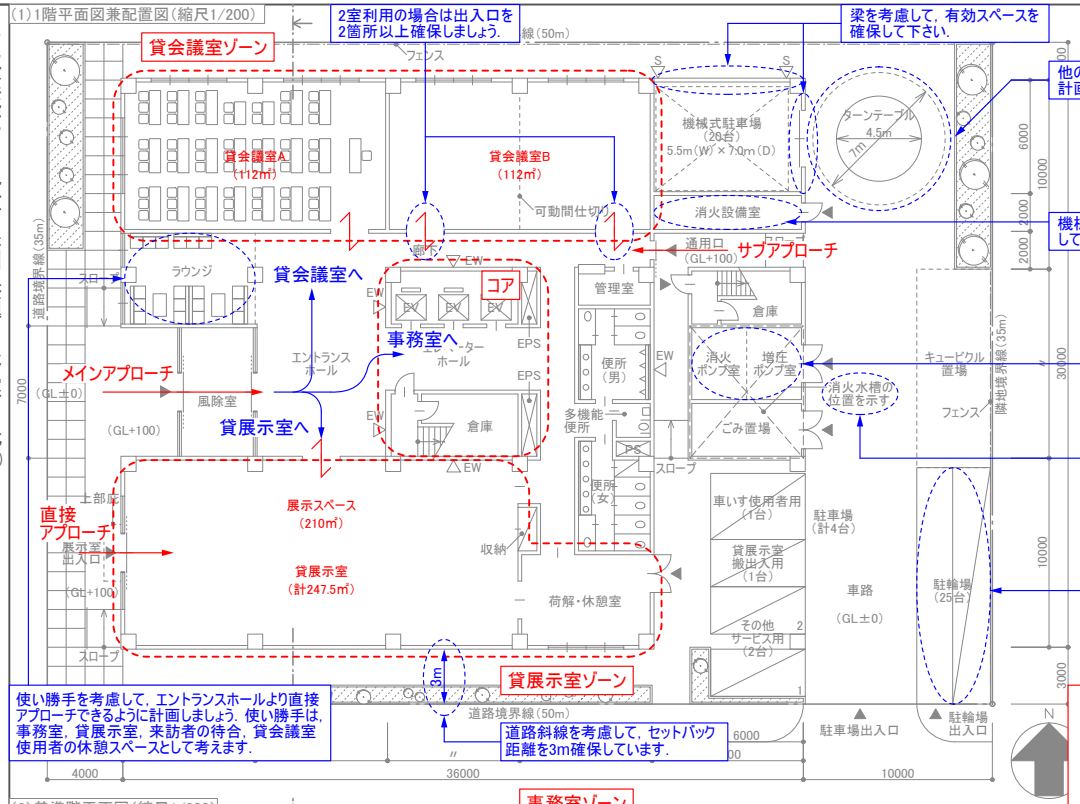

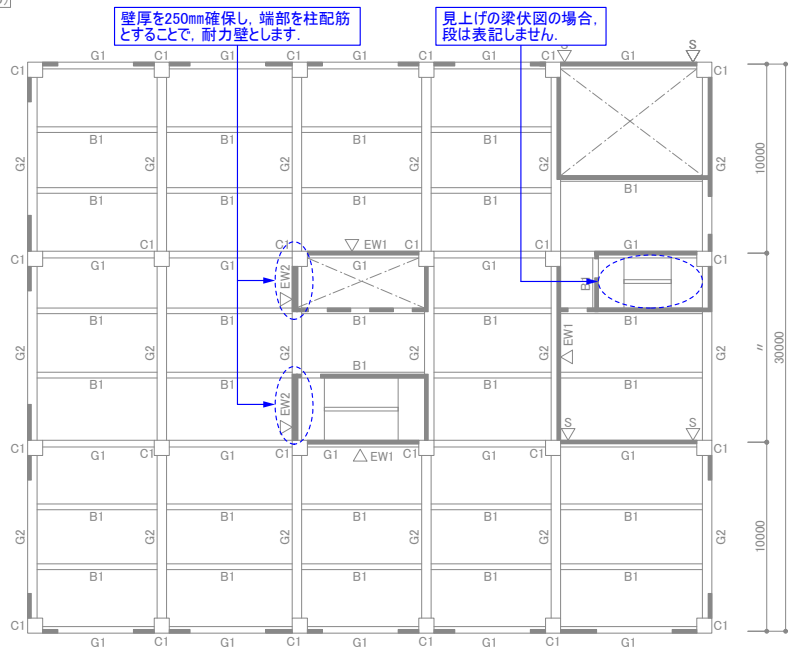

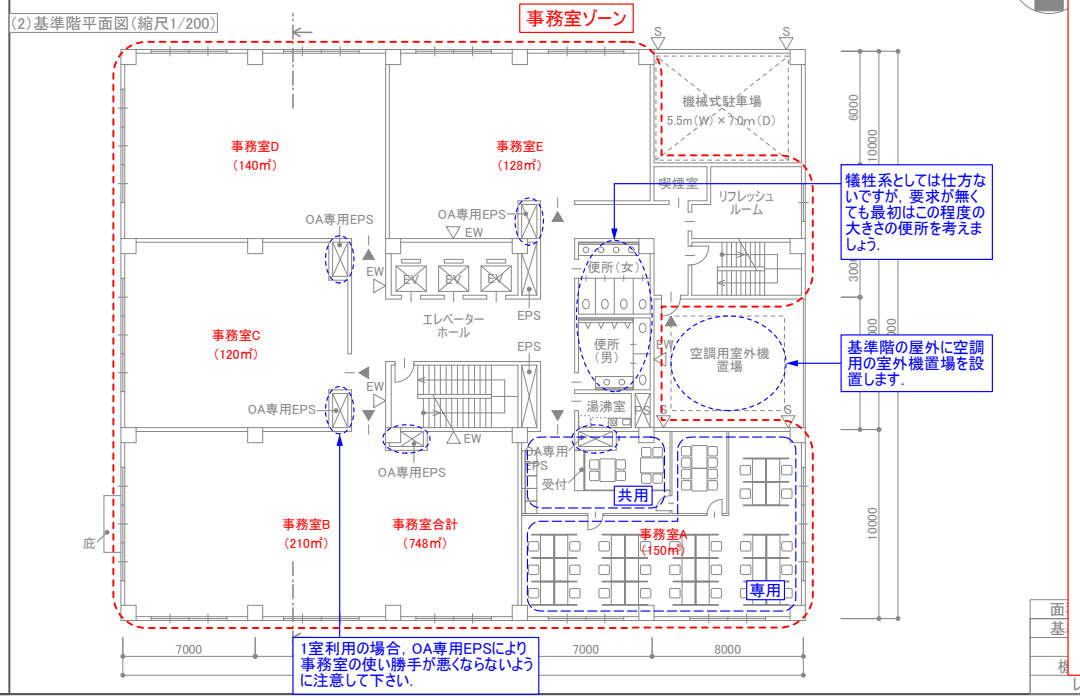

■ウラ指導後半戦通信添削第５課題の落としどころ！

皆さん，お疲れ様でした．この第５課題をもちましてウラ指導の通信添削講座全５課題が終了となります．
第１課題～第３課題は事務所ビルの基礎的知識，本年度から新たに追加される構造，設備の基礎的知識，第４課題はその基礎知識をもとに，事務所（基準階）が綺麗におさまらないようなトリッキーなパターンを学んで頂きました．過去４課題を通じて感じたことは，今までこうだからこうだろう，この場合はこうだなど課題文をしっかりと読み込まずに，勝手な決めつけや，課題文の読み落としで，解答している方がかなり多くいるということです．第５課題は，今まで学んできたことの集大成と，課題文の読みとりの重要性を再確認して頂く課題として作成してあります．

第５課題の特徴としては，
第１にレンタブル比の取り方です．今までは基準階における事務室の割合でしたが，今回の課題は全床面積に対する事務室面積の割合です．所要室の中の条件ではなく，設計条件の中に入っていることも特徴です．
第２に機械式駐車場です．内容に関しては，課題文に細かく指定されているために，特に難しく感じることは無いと思いますが，有効スペースとして，梁をしっかりと考えてスペースを確保しているか，ターンテーブルの使い勝手，消火設備室の位置なども検討が必要なところです．
第３に，構造種別の指定です．近年の本試験課題では構造種別が自由となっていますが，耐力壁が要求されることからも構造指定がある可能性も無いとも限りません．平成１２年の本試験では，他の構造種別を用いずにＲＣ造の要求でした．こういった場合もあるということを，忘れずにいて下さい．
最後に面積の取り方ですが，課題文においての面積の取り方については，あくまでも課題文に従わなくてはなりません．駐車場は1/5まで容積対象床面積から除くことは出来ますが，要求されている床面積が容積対象床面積で無ければ，床面積（延床面積）として算入します．容積率に対しての許容床面積の要求は，実務においても細かな部分で算入，不算入の判断が難しい部分がありますので，課題文条件無しに要求されることは無いと考えています．
上記以外に，細かな部分の要求としては，給水方式が増圧給水方式（受水槽無），ＥＶが３基，便所の内部の要求，ごみ置場が所要室に含まれていること，ポンプ室，消火水槽，消火設備室の要求，梁伏図が見上げ，断面図の南北指定等々．今まで課題文で出されていないことがこれだけ多く出てくると，エスキスでの課題文条件の整理もしっかりしなければ見落としや思いこみなどが必ず出てきてしまいます．課題文にマーカーチェックだけではなく，条件の抜き出しの重要性も再確認して下さい．

毎年お伝えしていることですが，これまでの全５課題を時間の許す限り，エスキスレベルまでで結構ですので何度も解き直して下さい．また，フォーラム等を利用して，各課題ごとの他の受講生プランを実際に採点して見て下さい．最低限，この第５課題だけでも結構です．課題文が要求している大枠を押え，それを死守することが出来れば，合格図面とみなせるという感覚を磨いて頂きたいのです．そうなれば，今年度の合格は不動なものとすることができます．細かく考えてしまったり，小さな部分にこだわりすぎると，まとめきれなくなるようにもともと課題文自体が作られております．今年度の本試験課題もしかりです．本試験当日は必ず泥試合となります．腕１本，足１本は犠牲にする覚悟でのぞんで下さい．ただし，頭や心臓だけは絶対に死守すること！生還さえできれば合格となります．
また，何度も繰り返してお伝え致しますが，試験においてまず一番に考えなければいけないことは，課題文の読みとりです．ここを読み落としてしまってはどんなにすばらしい解答を作っても，不合格となってしまいます．試験会場においては，課題文は敵ではなく，唯一の味方として存在しているのです．
試験当日，「答えは課題文の中にあり，最大の敵は己自身である．」この言葉を胸に刻んで，配られた課題文をめくって頂ければ幸いです．

レンタブル比　3,740(事務室合計)÷6,075×100　61.5 %